

## 旧作田家住宅

千葉県山武郡九十九里町作田に所在していた漁師の網元の家。二棟の分棟になっており、「二ツ」という土間部分が18世紀後期、「チャノマ」・「オク」などの主屋部分が17世紀後期の建造だといわれている。現在は、川崎市立日本民家園に移築されている。

土間の反対側の上手には、接客のための座敷（オク）がある。畳敷の部屋が続き、背後に水まわりが付属するなど、上層民家の接客部分を伝える建築。

